

ドイツ語圏から英語圏経由で日本に入ってきた歌詞の一例

例1 (旋律としての「原歌」) ドイツ民謡 Bald gras' ich am Neckar, bald gras' ich am Rhein

この歌の歌詞は1808年に有名な民謡コレクション*Des Knaben Wunderhorn* (「少年の魔法の角笛」) 第2巻15頁に収録された。

<http://books.google.co.jp/books?id=b4wNAAAAQAAJ>

この歌詞は古くから様々な旋律で伝承されていて、内容は失恋に関連するが、さまざまなヴァージョンがあったと思われる。ヘルダーが伝えている歌詞に対して、現在さまざまな歌集に載っている歌詞の意味は(一部省略されたからなのか)ほとんど理解不能。早くから民謡研究で注目されている歌ので、非常に多くのコレクションに載っている。後でもっともよく知られるようになった旋律は以下のものである。それが出版されている早い例は*Auswahl deutscher Lieder* (ドイツの歌選集、ライプツィヒのSerig出版社、確認できたのは1830年の第3版) である。

<http://books.google.co.jp/books?id=O2M6AAAACAAJ>

## 167. Das Klinglein.

**Gemüthlich.** **Volkweise.**



Bald gras' ich am Neckar, bald gras' ich am  
Rhein, bald hab' ich ein Schägel, bald bin ich al = lein.

**2. Was hilft mir das Gras, wann die Sichel nicht  
schneid't; was hilft mir ein Schägel, wenn's bei mir nicht  
bleibt?**

(歌詞はヘルダーと同一で8番までであるが、ここでは3番以下省略)

例2 (以下の例の歌詞としての「原歌」)

例1の旋律に当てて、より教育的な歌詞は*Winter* (冬) というタイトルで(意味は原歌と無関係)プロイセンの教員養成で使われた教科書*Theoretisch-Praktischer Gesangs-Cursus. Zum Gebrauch in höheren und mittleren Schulen, in Seminarien, beim Privatunterrichte* (「理論・実施的な歌唱教科書。高

中の学校、師範学校、個人レッスンのために」、Julius Merling著、マーグデブルク、第2版、1863年)の12頁に載っている。この教科書の記述によれば作詞者はAgnes Franzである。初出は不明。

<http://books.google.co.jp/books?id=cihDAAAACAAJ>

## 22. Winter.



1. Der Win - ter ist kom - men, ver - stummt ist der Hain, nun
2. Ein Lied und ein Spiel und ein Tänz - chen da = bei, da
3. Mag's im = mer dann drau = ßen auch stür = men und schnei'n: Herr



1. soll uns im Zim = mer ein Lied = chen er = freun, nun soll uns im
2. find wir so lu = stig, als wär' es im Mai, da find wir so
3. Win = ter soll freund = lich will = kom = men uns sein, Herr Win = ter soll



1. Zim = mer ein Lied = chen er = freun.
2. lu = stig, als wär' es im Mai.
3. freund = lich will = kom = men uns sein.      Agnes Franz.

このヴァージョンでは旋律が4小節延びているが、延長分は音楽的に必要ないし、歌詞が繰り返されているだけなので、省略可能な部分だといえる。

### 例3 (例2の英訳)

幼稚園用の教科書Adolf Douai: *The Kindergarten. A Manual for the Introduction of Froebel's System of Primary Education into Public Schools; and for the use of Mothers and Private Teachers* (New York 1871) p. 44に「Winter」がドイツ語原歌と英訳が並べて表記されている。ただし例2にある旋律の延長分がないので、この翻訳は別の文献に基づいていると考えられる。また例2にある2番の歌詞が省略。

<http://books.google.co.jp/books?id=SXBMTnWJh-oC&pg=PP8>

## 6. Winter.



1. We now are in win - ter; snow co - vers the grass;
2. Der Win = ter ist kom = men, ver = stummt ist der Hain,



but in a room co - sey our morn - ings we pass.  
 drum soll uns im Zim = mer ein Lied = chen er = freun.

- |  |   |
|--|---|
| 2. Though snow and storms bluster,<br>Naught stifles our glee,<br>Together we cluster,<br>So happy are we. | 2. Mag's immer da draußen<br>Auch stürmen und schnei'n,<br>Der Winter soll freundlich<br>Willkommen uns sein. |
|--|---|

#### 例4～6（例3の文語訳・五七調訳・ドイツ語訳）

Douaiの教科書（例3参照）の關信三による日本語訳は明治9年に出版された。

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/books/R100000002-I000000458572> および <https://dl.ndl.go.jp/pid/812545/1/35>

ただし翻訳時には楽譜が割愛された。日本にはまだ五線譜を読める読者が少なかったからだろうが、さらに言えばこの翻訳は文語訳で、音節数を見ても分かるようにそのまま歌えるものではなかった。

明治9年に創立された東京女子師範学校（お茶の水女子大学の前身）附属幼稚園ではこの文語訳がさらに五七調に改作され、明治10年には雅楽の伶人がそれにメロディーと伴奏を付けた。それが日本の幼稚園で使われた初めての近代的な唱歌であった。ただしその時に原歌の1番と2番が別に作曲され、別々の歌になった。原歌の一番は「寒夜」、二番が「冬燕居」というタイトルになっているが、作曲された日付から見て「冬燕居」の方が前に作られているので、翻訳の表では「寒夜」を「冬燕居」の下に示した。

当時伶人が使った作曲様式は西洋様式というよりも雅楽様式であり、楽譜も五線譜ではなく伝統的な「墨譜」であった（例5）。

さらにフランツ・エッケルト（Franz Eckert、「君が代」の編曲者）はもともと2番であった「冬燕居」を「ドイツ東アジア協会」の機関誌に五線譜で紹介した（明治13年出版、例6）。その際この歌の由来を知らなかったエッケルトは日本語の歌詞のドイツ語訳も付けた。従ってもともとドイツ語だった歌詞がまず英語に、そこから日本語の文語に、さらに五七調に、最後にそこからまたドイツ語に翻訳されたということになる。

Winter	Winter (Douai 1871)	冬（關信三 1876）
Der Winter ist kommen, verstummt ist der Hain, Drum soll uns im Zimmer Ein Liedchen erfreun.	We now are in winter; Snow covers the grass; But in a room cosey Our mornings we pass.	吾儕冬ヲ迎ルノ日、 白雪青草ヲ覆フ、 唯幽室ノ中ニ在リ、 僅カニ曉寒ヲ御クヘシ、
Mag's immer da draußen Auch stürmen und schnei'n, Der Winter soll freundlich Willkommen uns sein.	Though snow and storms bluster, Naught stifles our glee, Together we cluster, So happy are we.	縦ヒ雨雪ノ暴烈ナルモ、 曾テ一物ノ吾興ヲ妨ルナシ、 自ラ群僚ノ吾儕ニ伴フアリ、 幸福此ノ如ク即チ充分、

#### 冬燕居（冬ノ圓居）（東京女子師範学校附属幼稚園 1877）

イカバカリ。ユキヤアラレノ。ハゲシキモ。ヨシヤワレニハ。  
シタシカル。トモノマドキノ。タノシサニ。ココロタラハヌ。コトシモゾナキ。

#### 寒夜（ヨサム）（東京女子師範学校附属幼稚園 1877）

シラユキノ。ヤマモノハラモ。ウヅムトキ。ムロノトトヂテ。シヅカニモ。サユルヨサム  
ヲ。ワレハフセガン。

(Franz Eckert, *Mittheilungen der Deutschen Gesellschaft für Natur- und Völkerkunde Ostasiens*, 1880)

- (1) Mag es noch so schneien und hageln, es ist mir gleich.
- (2) Es giebt dann kein grösseres Vergnügen, als mit den vertrauten Freunden im Kreise zusammen zu sitzen.

例5 この伶人の作品は雅楽の記譜法で文献に残されている。

例6 エッケルトはそれを五線譜に書き変えた。

Gedämpft.  
 (\*) Diese Stimme ist wenigstens dreifach zu besetzen.  
 (\*\*) Die mit \* bezeichneten Noten, sind bedeutend schwächer als die übrigen, anzuschlagen.

例7 ゴチェフスキの採譜（「訳譜」）

[1. Mal.]  
*tutti*

い か ば か り / ゆ き や /  
 した し か る / と も の ま ど い の /

9  
 あ ら れ の / は げ し き も /  
 あ の し さ に / こ こ ろ た ら わ ぬ /

17  
 よ し や わ れ / に (ん) ほ /  
 こ と し も ぞ / な (ん) き /

参考文献（一次資料）：清水たづの「保育唱歌」の写本

<https://teapot.lib.ocha.ac.jp/records/7504>